

## 神話の国・出雲を舞台に紡がれるひとびとを結ぶ〈縁〉の物語



### 一村一志

「夢の芽生える文化」創造のプラットフォーム  
「八雲志人館」は、将来に向けて持続可能な  
地域を創出することをめざして活動します。

### 世界を魅了する、日本の美のルーツがここに！

神々の国そして神話のふるさと、島根県出雲市。縁結びの神さま「大國主大神（おおくにぬしのみこと）」が祀られた出雲大社は、日本有数のパワースポットとして、全国から多くの参拝客を集めている。その出雲大社の全面協力を仰いで生まれたヒューマンストーリー『縁（えにし）』。主人公の真紀を演じるのは、『さいはてにてくやししい香りと待ちながら』のシングルマザー役で女優としてひと皮むけた

佐々木希だ。その白無垢姿の圧倒的な美しさに、誰もが息を呑まずにはいられないだろう。出雲を愛するがゆえに周囲と折り合えない充役には『パッチギ！ LOVE & PEACE』『砂時計』の井坂俊哉。真紀を常に優しすぎる眼差しで見守る、婚約者・和典を平岡祐太、叔母役のりりイ、充の同級生役の藤本敏史（FUJIWARA）ら、多彩な顔ぶれが脇を固めている。監督は、出雲に生まれ育ち出雲の魅力を知り尽くした、『私の悲しみ』の新鋭・堀内博志。撮影監督は『恋する惑星』『花様年華』の世界的なカメラマ

ン、クリストファー・ドイルだ。出雲の豊かな自然に魅せられた彼が、かけがえのない日本の原風景をスクリーンに焼きつけた。さらに、米米（LUB）の金子隆博による優美で荘厳な映画音楽、奄美民謡の朝崎郁恵の歌声が深い余韻を残す。

祖母を亡くした真紀が、遺品の婚姻届に導かれ、失った家族の絆を取り戻す旅。東京都内の出版社に勤務する飯塚真紀（29）は大手建設会社勤務のエリート・中村和典（30）との結婚式を控えていた。そんな頃、同居する祖母のあきゑが亡くなる。あきゑの遺品を整理した真紀は、桐の箱に納められた白無垢と婚姻届の束を見つける。婚姻届の夫の欄に

### 映画のご案内

出雲大社で初の本格的な映画撮影が実現!!  
あなたもきっと誰かとの縁に気付く、  
真の縁結び映画の誕生。

出演：佐々木希、井坂俊哉、平岡祐太

監督：堀内博志

撮影監督：クリストファー・ドイル

9月26日(土) 先行ロードショー!

松江東宝5

T・ジョイ出雲

MOVIX日吉津



は「秋国宗一」と書かれ、ほかは空欄となっていた。祖母の納骨のため、真紀は生まれ故郷の出雲へ向かう。そして祖母の死を伝えるため、婚姻届の住所を訪ねた。けれど「秋国宗一」は既に転居した後だった。しみみ漁師・大森充（35）の協力のもと、「秋国宗一」探しを続けるのだった。充はかつて、神楽の担い手として活動していたが、周囲の出雲に対する想いの相違に、憤りを隠せない。真紀は出雲で充と過ごす時間の中で、自分のなかの何かが変わっていくのを感じていた。それは充もまた同じだった。そんな頃、東京に居る婚約者・和典は真紀と「秋国宗一」を繋ぐ手紙を見つけてる。花火大会の夜、それぞれ縁（えにし）がつながって行く。やがて、真紀は白無垢姿で嫁入りをする。そこには、あの人がある。

### 『縁』 応援物語

様々な縁をいただきながら生かされている私たち縁とはほんとうに不思議なものです。

出雲生まれの若い映画監督・堀内博志さんが、縁結びの神様が坐（ま）します出雲大社を舞台に、『縁（えにし）』という映画を撮る、というお話を聞きました。私は即座に「応援しよう！」と思いました。

私も出雲市平田町生まれ。堀内監督と「同郷」という地縁で結ばれています。平田には、映画で街創りをしようと活動している多くの仲間がいて、「人の輪」もありました。

私は、友人知人に声をかけて、「おもてなしプロジェクト」を立ち上げました。

7月初旬〜8月10日までの1ヶ月間、俳優、スタッフの皆さんのお昼弁当を手作りして、ロケ現場に届けるという「おもてなし」をしようと思ったので。舞台となった「出雲」との縁を、皆さんがいつか「必然のご縁」だったと感じてもらえるようにと願ったことです。

ボランティアでお弁当作りに参加してくれる人の輪は43人に広がりました。仲間には、プロ級の腕前を發揮してくれる強力な助っ人がいて、地元素材を生かしたメニューを考えてくれました。食材費は、ご寄付いただいた中からまかないました。

お弁当の懸け紙には、地元で活躍されているエッセイストの原美代子さんに、やはりボランティアで、出雲神話所縁（ゆか

### 意宇川点描



切通しと彼岸花

り）の物語と可愛いイラストを描いてもらいました。お話と絵が日替わりになる出雲神話の懸け紙を巻いた、郷土愛一杯の特製弁当を、メンバーが毎日、ロケ地に届けたのです。

地縁のエネルギー、人の輪、そして心優しさを結集し、猛暑続きの1ヶ月間を無事、みんなの力で乗り越えることができました。感謝、感謝です。

あれから1年、いよいよ9月26日（土）から、松江市、出雲市、鳥取県日吉津村で、「縁（えにし）」の先行上映が始まります。

白無垢の「和」を身にまとった花嫁の、瞳の奥にあるものは、何を問いかけているのでしょうか？

ご覧になれば、自分の「縁」を見つめるよいきっかけになると思います。ぜひ、映画館で鑑賞してくださいませ。

八雲志人館  
代表 佐藤京子

### ◆後記

「ゆう科学通信」は皆様からのご意見、情報を礎に発信していきます。

ご投稿はメール、ファクスでお願いいたします。